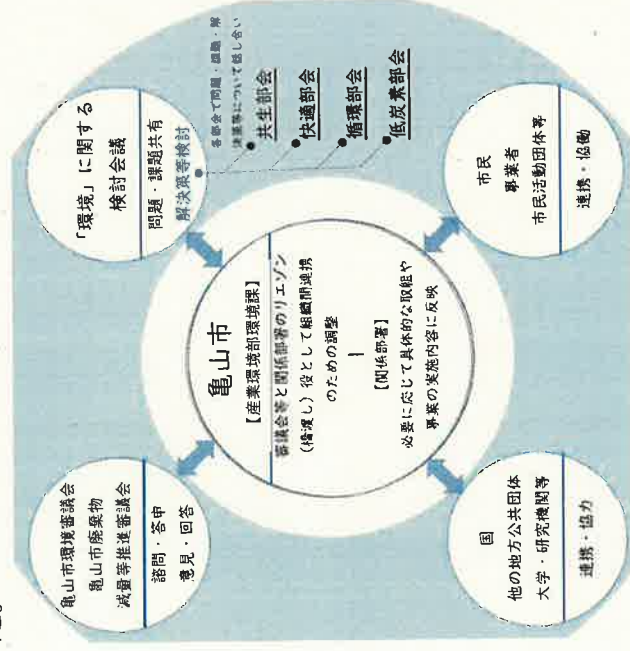


1 亀山市環境未来創造会議とは？

当市が令和3年6月に策定しました第2次亀山市環境基本計画第8章「計画の推進」1推進体制（4）「環境」に関する部会及び検討会議において、「共生・快適・循環・低炭素」の4つの基本施策ごとに、廃棄物減量等推進委員（ごみダイエットサポーター）、地球温暖化防止対策推進員や、関係する市民団体、市民や事業者等及び行政が、本市の環境に関する問題、課題及びその解決策等について話し合う快速部会、共生部会、低炭素部会及び循環部会の計4部会が設置しました。

併せて、第2次亀山市環境基本計画の推進を図るにあたり、部会での検討内容を持ち寄り、本市の環境全体に関する話し合いを行う検討会議を開催することにより、本市の環境に関する問題や課題の現状等を的確に把握し、効果的な施策の推進に繋げる等、市民、事業者及び関係団体等から幅広い意見を反映するため、亀山市環境未来創造会議が令和3年9月14日に設置しました。



2 第1回目開催について

●会議開催の目的

第2次亀山市環境基本計画の推進を図るにあたり、計画の具現化に向けて分野別に検討を行う各部会における相互に複雑に関連する環境分野の課題の解決及び一体的向上を目指し、SDGsの考え方を踏まえて各部会の検討状況について意見交換を行う。

●各部会の活動内容の共有（報告）

別紙参照

●ワークショップ（環境未来創造会議が創る『持続可能な社会』）

環境未来創造会議を通してトレードオンな環境施策を各部会話題や活動状況を持ち寄って共有

- 意見交換、議論、調整を推進
- 積極的にコラボレーション
- 相乗効果でより良い結果に

●成果

部会ごとの議論が深まらない時点で、「横の関係」で具体的な議論ができた丁度良い機会であり、新鮮な意見を出していただいたことから、成果はあった。

3 今後の方向性

- ・全体的な横串に「子ども」が色々なところに関わるということで、どの分野においても行動の成果が活かせるし、積極的に早い段階で関わる機会を作り上げていく。
- ・環境問題に取り組み人材育成ともいえるプロジェクトにおいては、まちづくり協議会が重要な役割を担い、市が地域課題をプログラムとして学校へ提供する役割を担う。このように、「子ども」を横串として通すことで、地域の結びつきが強まる状況を築いていく。

共生部会

活動状況

令和3年度

第1回共生部会

- ・共生部会の趣旨の確認
- ・部員の自己紹介
- ・連絡体制の整備

検討している事業等

令和4年度

第1回共生部会

- ・生物多様性を取り巻く国の状況の共有
- ・下記の検討事業に係る協議をおこなった
- ・各部員の活動地を別途調査することに

活動状況

部会の構成者

- ・生物系市民団体
- ・農業者
- ・林業者、林業系団体
- ・教育関係者
- ・一般公募者



農業水路等での小規模改修に係る事例研究と情報共有



独自OECM認証制度の検討
保護地区以外での生物多様性保全地域を、市独自で認証する制度の検討し、策定を目指します

亀山市で大切にすべき生物種、大切にすべき地域の策定に係る検討



各部員の活動地に係る生物調査等の交流促進

今後の方向性

- 1 亀山市独自のOECM認証制度を策定し、認証に係る体制づくりを行う。
- 2 亀山市で大切にすべき生物種・大切にすべき地域について、策定に向けた手続きを進める。
- 3 各部員の活動地の生物多様性の状況を調査するとともに、部員間の協働を促進する。

構成者

亀山市まちづくり協議会連絡会議
亀山市地区衛生組織連合会
一般財団法人三重県環境保全事業団
市内関連事業者
市民公募

活動実績

令和4年5月24日 第1回部会開催
(内容) 部会の趣旨確認、部員自己紹介
令和4年11月22日 第2回部会開催
(内容) 亀山市の環境美化施策のあり方についての議論

今後の方向性

- ・地域の特性に応じた環境美化の仕組みづくりへの取組
- ・関連部署との連携を強化することによる、縦割り行政の解消
- ・形に残る環境美化施策イベント開催の検討(例:「鈴鹿川スゴミ大会」)
- ・子どもも参加可能な環境施策イベントの開催に向けての積極的な取組
- ・優良団体の評価推進

こんな意見も！

「第2次亀山市環境基本計画が」絵に描いた餅と
ならないよう、ビジョンを持って政策に取り組んで
いただきたい。

現在の亀山市における環境美化対策担当部署一覧

	産業環境部環境課 環境創造グループ	産業環境部環境課 廃棄物対策グループ	建設部建設管理課 道路保全グループ	建設部都市整備課 都市計画グループ	建設部建築住宅課 住まい推進グループ
市全体	・市内一斉清掃(11月) ・環境美化パトロール(1月) ・クリーン作戦(3月) 【いずれも亀山市地区衛生組 織連合会が主催・共催で実 施】	・資源持ち去りパトロール ・不法投棄監視パトロール			
道路			・道路ふれあい月間 (7~10月) ・亀山市市道草刈活動支援 事業 ・亀山市道路環境美化ボラ ンティア推進事業		
公園				・亀山市公園等環境美化ボ ランティア推進事業	
空地・空家	・空き地の管理指導(除草)				・空き家等総合対策支援 事業



● 活動状況

令和4年度 第1回循環部会の開催（令和4年5月19日（木）14時～）

- ・ 循環部会の趣旨について
- ・ 自己紹介
- ・ 部長、副部会長の選出
- ・ 亀山市のごみの現状と第2次亀山市環境基本計画の施策への取り組みについて
- ・ 今後の検討課題等について



● 今年度の取り組み

- ・ 第2次亀山市環境基本計画における「循環型社会の構築」のためのプロジェクト「ICTを利用した食品ロス削減のための仕組みづくり」の取り組みとして、10月1日より食品ロス削減マッチングサービス「かめやまタバスケ」を開始。（令和4年度は三重県モデル事業）

かめやま  タバスケ

登録QRコード



タバスケ HP <https://tabesuke.jp>

● 今後の方向性

- ・ 亀山市で実施している事業やごみ排出量、ごみ処理の現状について課題等を話し合い、検討する。
- ・ 主に食品ロス削減に向けた取り組みを推進し、ごみの排出抑制、再生利用など「循環型社会の構築」のための活動について検討する。



活動状況

令和3年度

第1回低炭素部会

- ・低炭素部会の趣旨の確認
- ・部員の自己紹介

令和4年度

第1回低炭素部会

- ・亀山市の温暖化・気候変動の状況の確認
- ・温暖化と気候変動に対する今後の取組の展開についての話し合い

- ・温暖化により明治13年から平成24年の期間に世界平均地上気温は0.85℃上昇
- ・平均気温上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力が必要（パリ協定）
- そのためには、脱炭素社会の実現に向けた取組が必要
- ・気候変動の影響に対処し、被害を少なくする「適応」も必要

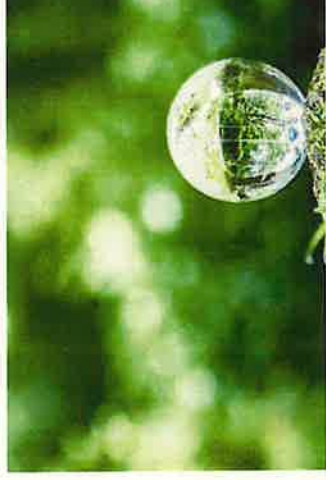
検討している事業等



再生可能エネルギーの活用

防災拠点での活用、小規模発電（家庭への普及を含む。）など

子ども達への環境教育の推進



地域新電力に関する検討

地域新電力：地域内の発電電力を、主に地域内の公共施設や民間企業・家庭に供給する地域密着型（地産地消）の電力小売事業者



森林吸収源の活用



こんな意見も！

- ・ポイ捨てを減らすなどのまちの美化や過剰包装を減らすなどの省資源活動も大切
- ・そもそも環境問題に興味・意識を持ってもらいたい

今後の方向性

- 1 検討している事業等について、他の地方公共団体の参考事例を収集する。
- 2 現在亀山市で既の実施している事業等との関連について調査・整理する。
- 3 事業の具体化に向けた制度設計その他に関する検討を進める。

